

IR学術雑誌論文登載状況調査

オープンアクセスと著作権ポリシーの確認

機関リポジトリ推進委員会WG

課題領域：オープンサイエンス SCPJ班

真中 孝行（筑波大学）

本調査の目的

1. 機関リポジトリ（IR）における学術雑誌論文の登載状況
2. 著作権ポリシーの確認状況

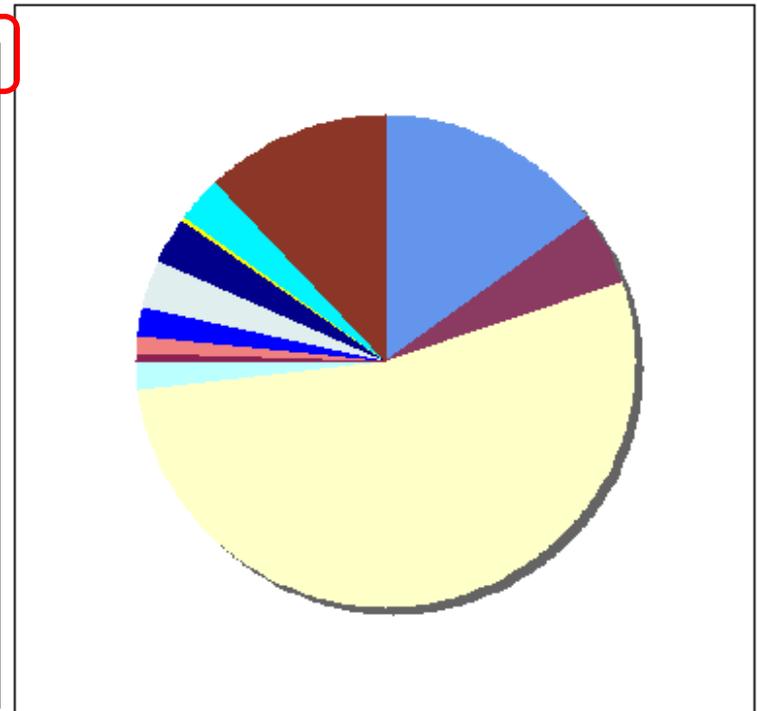
調査対象及び実施方法

- 調査対象
 - 機関リポジトリ構築済の機関
(今回は国公立大学の図書館)
 - 回答数：277機関
- 実施期間
 - 平成28年2月15日～平成28年3月4日
- 実施方法
 - 国公立大学図書館協力委員会経由
 - インターネットWeb回答

IRの雑誌論文登録率：IRDB

資源タイプ別コンテンツ数内訳(割合)

Journal Article(学術雑誌論文)	255,867 (15.0%)
Thesis or Dissertation(学位論文)	80,405 (4.7%)
Departmental Bulletin Paper(紀要論文)	908,616 (53.4%)
Conference Paper(会議発表論文)	30,758 (1.8%)
Presentation(会議発表用資料)	8,403 (0.5%)
Book(図書)	21,394 (1.3%)
Technical Report(テクニカルレポート)	29,816 (1.8%)
Research Paper(研究報告書)	53,624 (3.2%)
Article(一般雑誌記事)	52,350 (3.1%)
Preprint(プレプリント)	407 (0.0%)
Learning Material(教材)	4,205 (0.2%)
Data or Dataset(データ・データベース)	53,536 (3.1%)
Software(ソフトウェア)	30 (0.0%)
Others(その他)	202,010 (11.9%)
合計	1,701,421



※クリックすると詳細な図が別ウインドウで表示されます

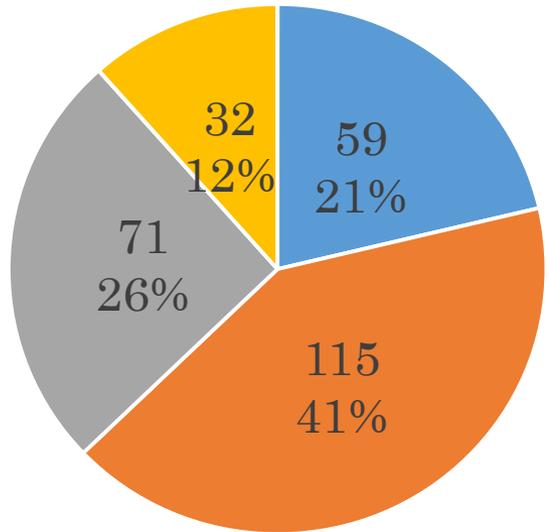
<http://irdb.nii.ac.jp/> より

分析対象：IRDBハーベスト機関リポジトリ数：543、

コンテンツ数 全体：2,244,905件、本文あり：1,701,421件 (2016/04/30)

学術雑誌論文登載状況： コンテンツ受付

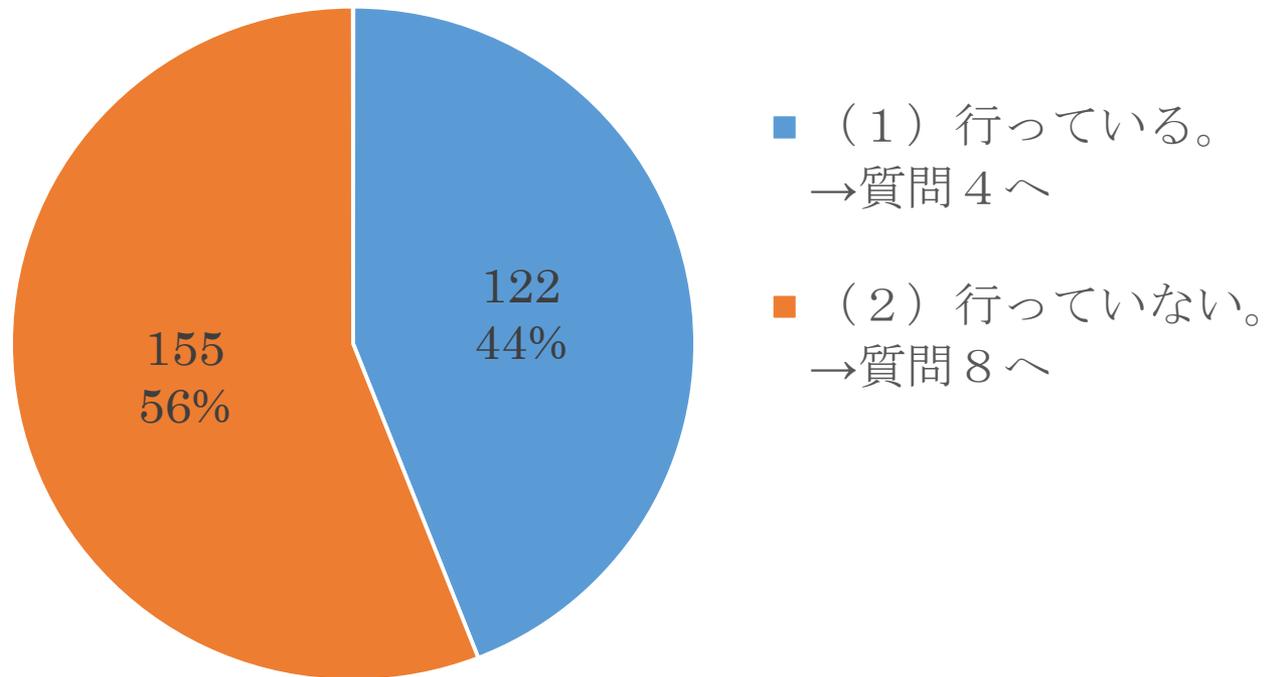
02_登録コンテンツの受付



- (1) 無条件で受け付けている。
- (2) 条件付で認めている。
- (3) 受け付けていない。
- (4) その他具体的に

学術雑誌論文登載状況： コンテンツ登録呼びかけ

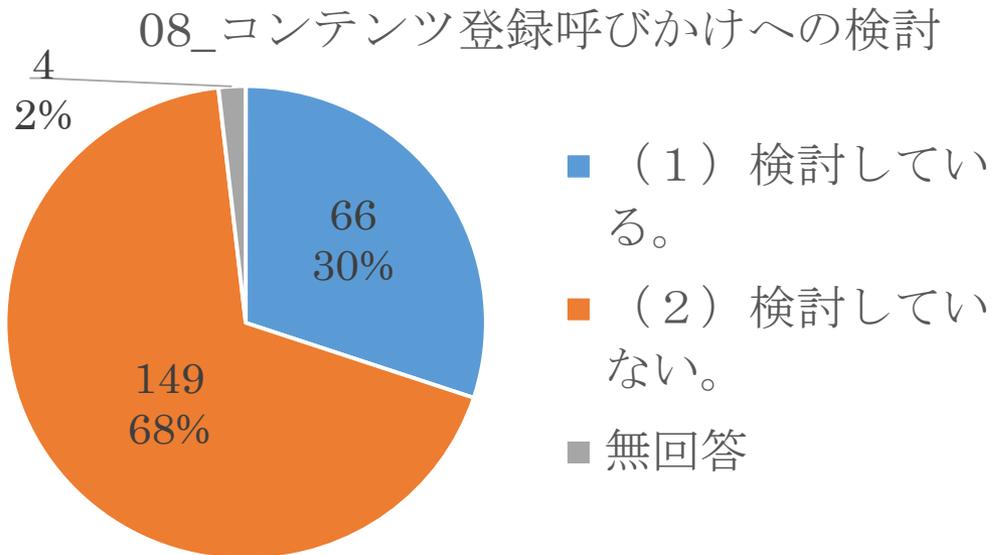
03_コンテンツ登録の呼びかけ



学術雑誌論文登載状況： コンテンツ登録呼びかけ方法

- 呼びかけ頻度
 - 年1回が最も多い。次に不定期
 - 外部データベースのアラート機能利用館も
- 呼びかけ効果
 - 8割の機関が登録に至った
- 呼びかけ付随効果
 - 呼びかけ論文以外の提供
 - 機関リポジトリに関する問合せ

学術雑誌論文登載状況： 今後の呼びかけ

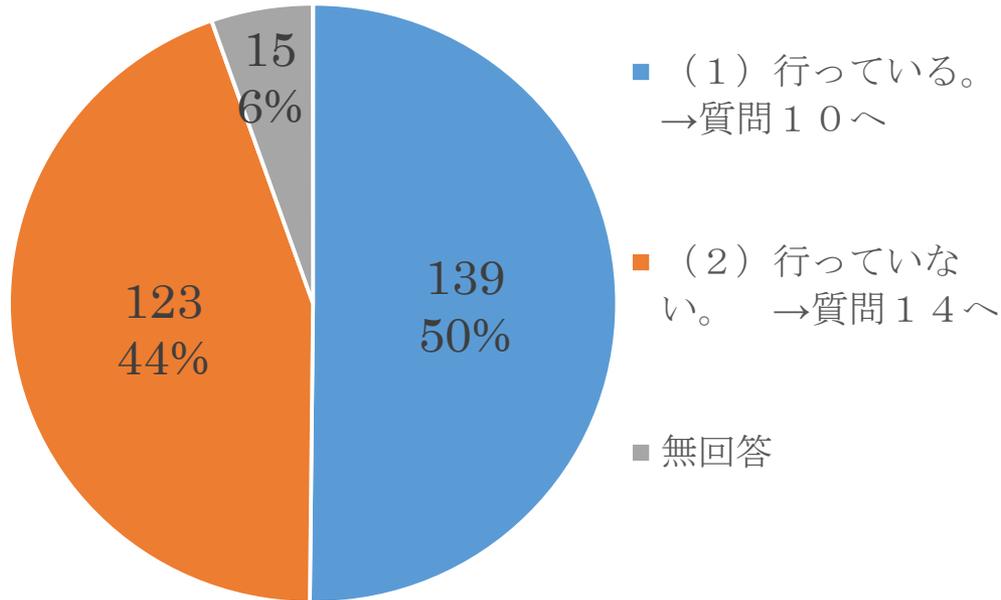


積極的な呼びかけを行わないまでも、研究者からの申し出があったときに登録するケースが多い。

(コンテンツ登録呼びかけ、または指
定して呼びかけしていない館の回答)

著作権ポリシー：確認

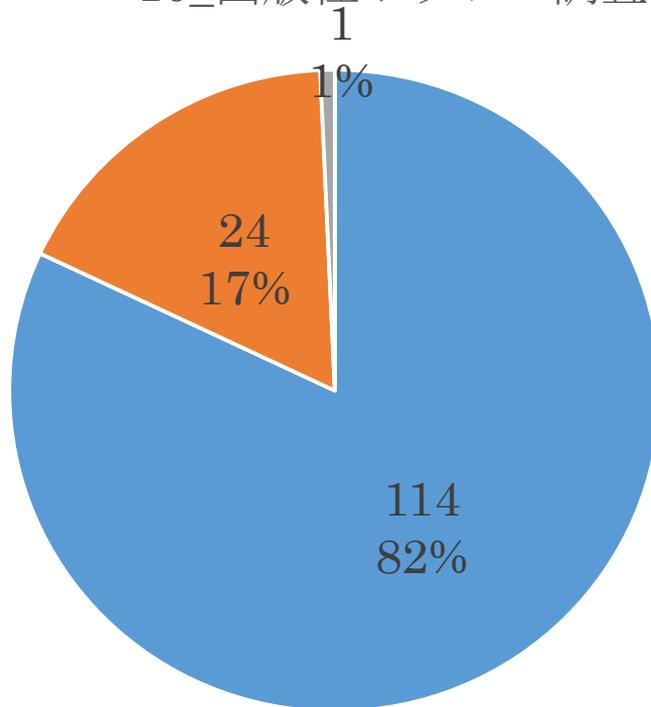
09_出版社ポリシーの確認



- 次に確認したいこと
 - 確認を行っている場合、SCPJを使うか
 - 行わない場合の理由

著作権ポリシー： SCPJ使用状況

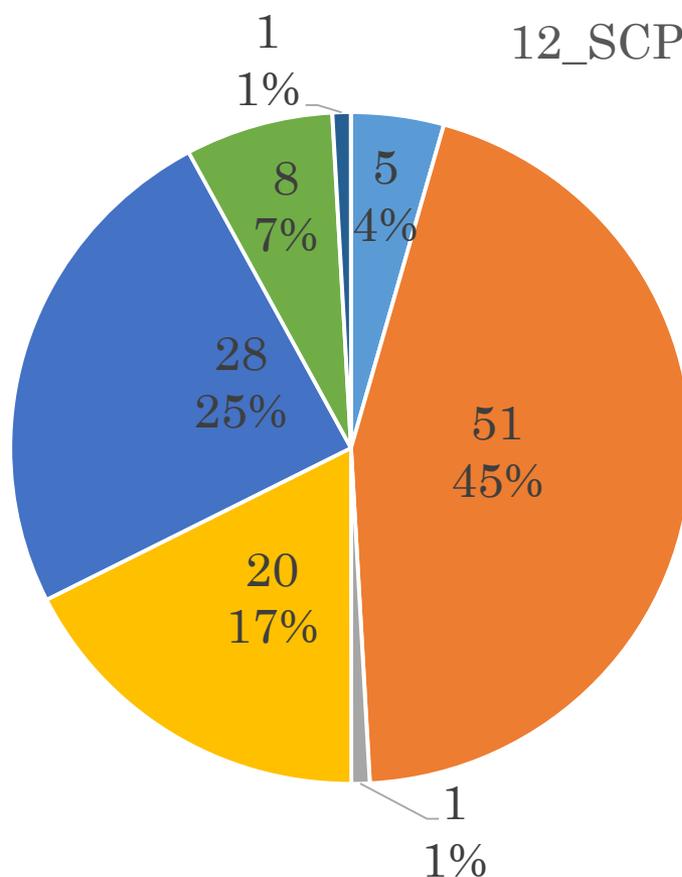
10_出版社ポリシー調査におけるSCPJ使用状況



- (1) 利用している。 → 質問 1 1 へ
- (2) 利用していない。 → 質問 1 3 へ
- 無回答

- ポリシー確認館の**8割**が利用
- 改善要望としてはSCPJデータの**最新性の確保、登録範囲の拡大、操作性の向上等**

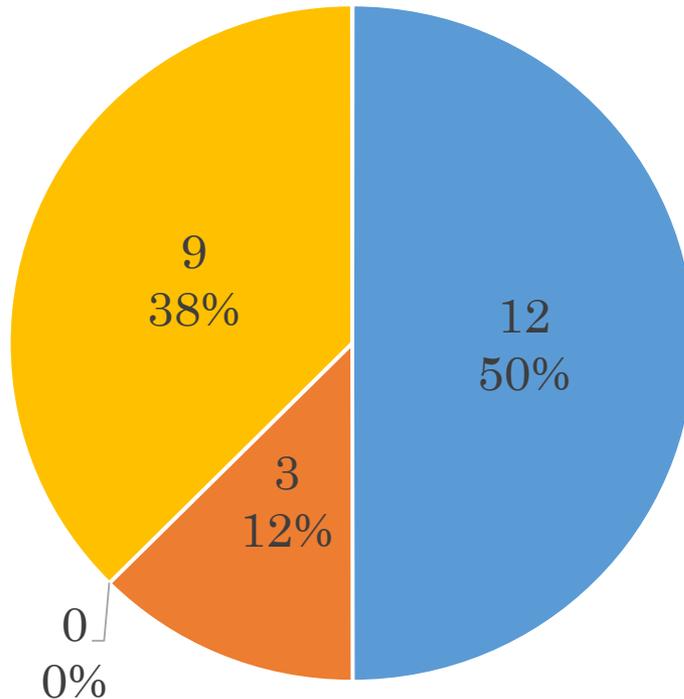
著作権ポリシー： SCPJ参加意思



- (1) 現在更新に参加しており、今後も参加し続けたい。
 - (2) 現在は更新に参加していないが、今後は参加することも考えたい。
 - (3) 以前は参加していたが、現在はしておらず、今後参加する意志もない。
 - (4) これまで更新に参加したことはないし、今後参加する意志もない。
 - (5) わからない。
 - (6) その他具体的に
 - 無回答
- SCPJ利用機関の約半数が参加意思あり

著作権ポリシー： SCPJを利用しない理由

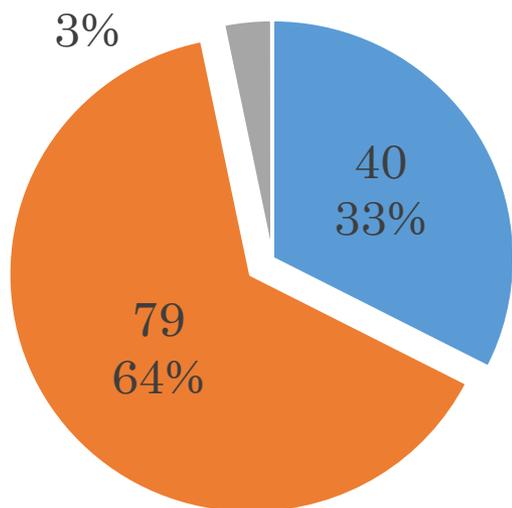
13_SCPJ非利用の理由



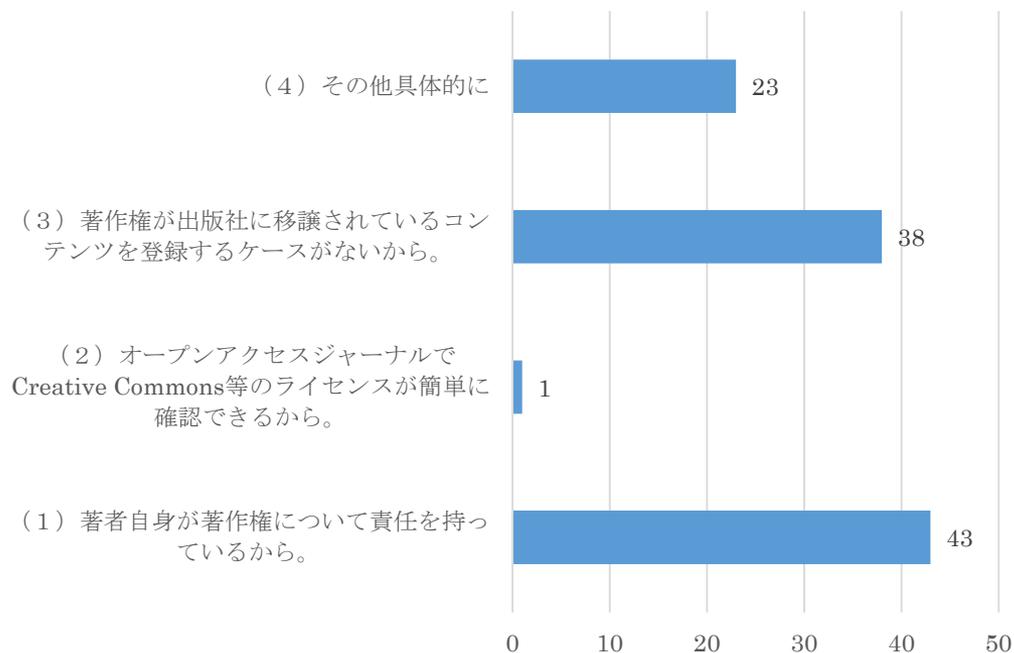
- (1) SCPJを知らなかった。
- (2) SCPJは知っていたが、必要性を感じなかった。
- (3) SCPJは知っているし利用したこともあるが、役に立たなかった。
- (4) その他具体的に

著作権ポリシー： 確認予定と確認しない理由

4 14_出版社ポリシー確認実施の予定

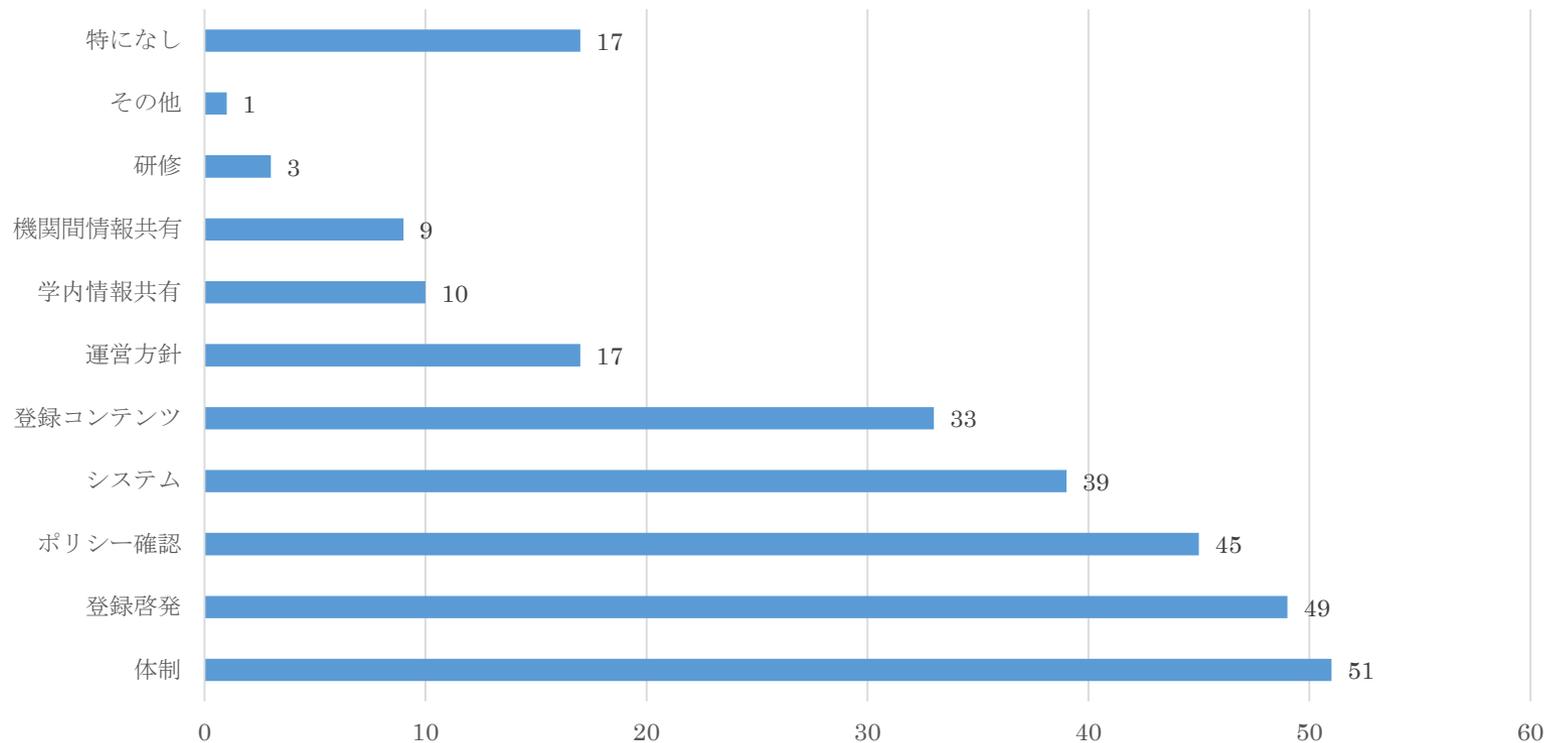


15_図書館が出版社ポリシーを確認しない理由



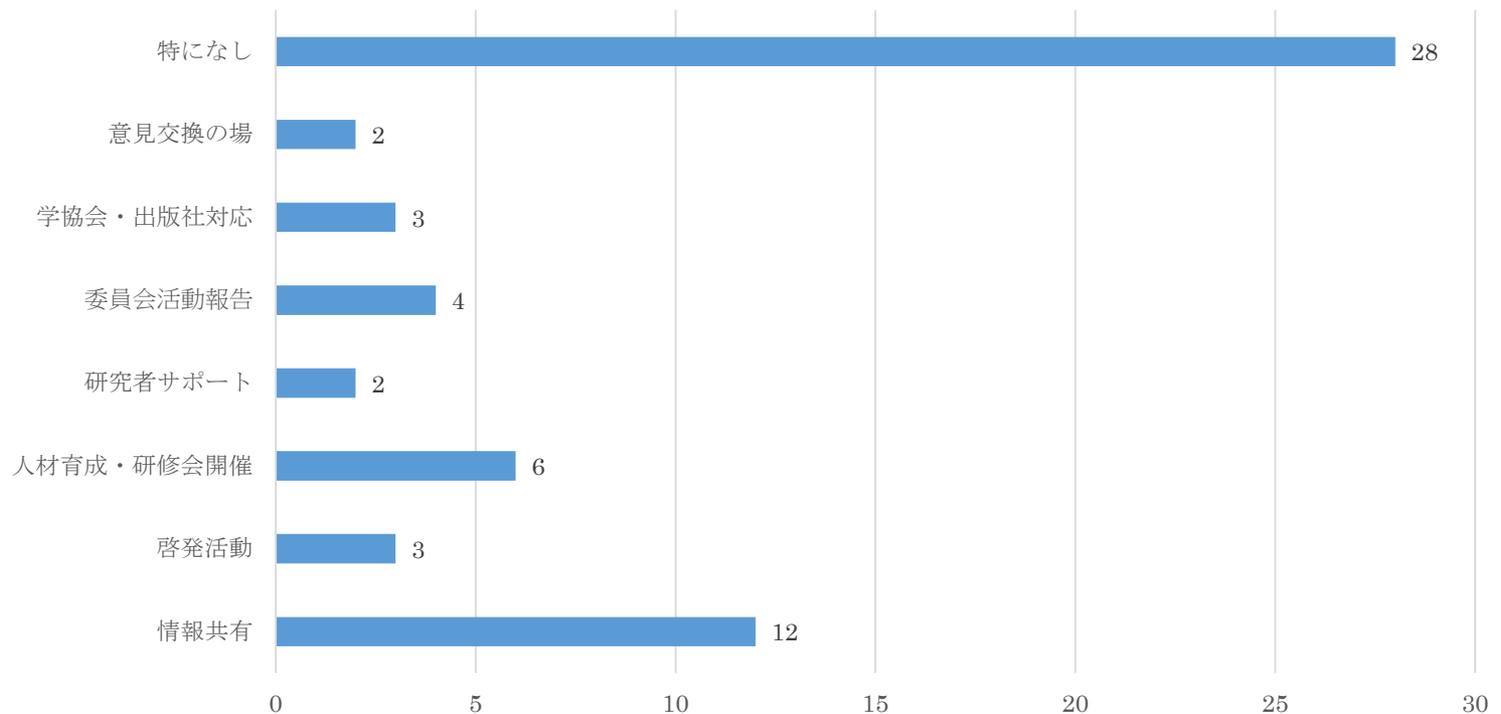
リポジトリ運用課題

16_リポジトリ運用における課題



機関リポジトリ推進委員会への要望

17_委員会活動への要望



まとめ

- 機関リポジトリへの学術雑誌論文登載行動は実際のところ少ない。
- これから登録される可能性は高い。研究成果の可視化、IRDB経由でCiNii Articlesへ。
- 著作権ポリシー確認のためのツールの需要はある。